

大切な家族と、人の未来を拓く医獣連携

私たちの研究は、犬や猫に自然に発生したがんを対象に、新しい治療法を開発し、その効果や安全性を確かめるための「臨床試験」を中心に行っている研究です。人間の医療で開発が進んでいる技術も取り入れながら、どうぶつに合ったがん治療の実現を目指しています。また、この研究成果が人間の医療にも役立つことを目指しています。



なぜこの研究が必要？（研究の背景・課題）

犬や猫も人間と同じようになんにかかることが多く、進行すると治療が難しい場合もあります。既存の治療法だけでは限界があるため、新しい治療法が必要です。また、犬や猫に自然に発生したがんは、人間の「がん」と似ている点が多く、どうぶつでの研究で得られた知識や技術は、人間の「がん」のメカニズムの解明や新しい治療法開発にも役立つ可能性があります。この研究は、どうぶつと人の両方のがん治療の発展に貢献することを目指しています。

具体的に、どんなことを研究しているの？（研究内容・技術の概要）

病気の犬や猫にご協力いただき、新しい治療法を実際に試す「臨床試験」を多く行っています。

特に、免疫の力を使ってがんを攻撃する「がん免疫療法」（例：免疫チェックポイント阻害剤やCAR-T細胞療法など）や、エネルギー代謝を調節する治療法、ウイルスを使った治療法といった、様々な新しいアプローチを開発・評価しています。他の分野の専門家とも協力し、治療効果を高める方法や、なぜがんができるのかといった原因の解明も進めています。



この研究が進むと、どんな未来につながるの？
（実用化・社会への貢献）

この研究によって、今まで治りにくかったどうぶつのがんに対して、安全で効果的な新しい治療法が生まれることが期待されます。大切な家族である犬や猫たちが、がんを闘い、長く元気に過ごせるようになる未来を目指します。さらに、どうぶつでの研究成果が、人間の「がん」の治療法開発にも役立ち、人とどうぶつの両方の健康と幸せに貢献できると考えています。



医・獣トランスレーショナル臨床研究部門

（獣医臨床病理学研究室）

私たちはどうぶつの命に寄り添う科学で、暮らしをもっと笑顔にすることを目指しています。犬や猫の健康とともに、人も幸せに。

